



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月3日

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3409 URL http://www.ktbo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)仲治 文雄
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)西川 康一 (TEL)076(277)7530
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	111	△3.1	△1	—	2	△68.7	3	△51.1
30年3月期第1四半期	114	15.0	4	—	9	751.4	6	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	2.72	—
30年3月期第1四半期	5.58	—

(注) 平成29年10月1日を効力発生日として10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,382	584	42.2
30年3月期	1,397	590	42.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 584百万円 30年3月期 590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	210	△7.4	1	△85.7	3	△70.5	3	△61.6	2.43
通期	430	△3.5	10	106.8	10	13.3	10	△75.1	8.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	1,291,100株	30年3月期	1,291,100株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	56,120株	30年3月期	56,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	1,234,980株	30年3月期1Q	1,235,064株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予測に関する事項は、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得情勢を受け、個人消費も含め緩やかに回復傾向にありましたが、ここに来て全般的に停滞感が強くなってまいりました。海外では6月に歴史的な米朝首脳会談が行われ、融和ムードも生まれてまいりましたが、逆に米中の貿易摩擦は激しさを増しており、先行き不透明感が増大しております。また、日本国内は大阪北部地震が発生し、今後の個人消費にも影響がでてくると思われま

す。繊維景況においては、衣料用途で長く続く百貨店の販売不振が常習化し、中東民族衣装向けもサウジアラビアの不安定な国内情勢の影響を受けて数量は減少となっております。産業資材用途は、エアバック用が好調に推移し、建築資材関係も耐震工事や都市開発が活発化し堅調に推移しております。

このような状況の中、当社の第1四半期累計期間の業績は、売上高111,223千円（前年同四半期比3.1%減）、営業損失1,932千円（前年同四半期は4,761千円の営業利益）、経常利益2,998千円（前年同四半期は9,602千円の経常利益）、四半期純利益3,362千円（前年同四半期は6,888千円の四半期純利益）となりました。

なお、事業別の業績は次のとおりであります。

(繊維事業)

当社では、昨年度より生産数量の増加を目標に置き、人員の増強及び生産スペースの増強に努めてまいりましたが、レギュラーポリエステル受注が減少する見通しであることから、思うような受注数量をキープすることが困難であると判断し、生産体制の見直しを実施いたしました。さらに、高機能インナー向け紡績糸についても原料手配が間に合わず、受注数量に対して合理的な生産ができなかったため、産業資材分野の主力商品であるアラミド繊維が昨年に引き続き好調に推移したにもかかわらず、生産量は前年同四半期に比べ7.3%の減産となりました。また、電力料等の製造コストが上昇し、取引先へ加工賃の見直しを実施しましたが、すべてを補うことができず大きな負担となりました。

この結果、繊維事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高は111,180千円（前年同四半期比3.1%減）、営業損失1,510千円（前年同四半期は5,911千円の営業利益）となりました。

(環境事業)

事業立ち上げから3年を経過した環境事業は、主力商品カラム（特殊パウダー入りポリエチレン）を販売してまいりました。特に昨期より、その販売施策を代理店契約による販売に切替し、アサヒ衛陶株式会社を基幹代理店として営業活動を続行してまいりましたが、確たる売り上げに結びつかず、平成30年6月にその基幹代理店契約を解消いたしました。今後につきましては、主力商品カラムの取り扱い見直しから始まり、事業全体の再構築に迫られております。一方、こうした厳しい事業環境の中で順調に成果を重ねております北陸先端科学技術大学院大学との共同研究を基盤に、環境改善に貢献できる商品開発に取り組みます。

この結果、環境事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高は43千円（前年同四半期比33.3%増）、営業損失422千円（前年同四半期は1,149千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は160,381千円となり、前事業年度末に比べ2,381千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が5,631千円増加しましたが、売掛金が12,084千円減少したことによるものであります。固定資産は1,222,230千円となり、前事業年度末に比べ12,449千円の減少となりました。これは主に、保有株式の時価が下落したことにより投資その他の資産の投資有価証券が13,238千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,382,611千円となり前事業年度末に比べ14,831千円の減少となりました。

(負債)

流動負債は516,599千円となり、前事業年度末に比べ4,177千円の減少となりました。これは主に、短期借入金が4,500千円減少したことによるものであります。固定負債は281,609千円となり、前事業年度末に比べ4,748千円の減少となりました。これは主に、繰延税金負債が4,578千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は798,209千円となり、前事業年度末に比べ8,926千円の減少となりました。

(純資産)

株主資本は25,855千円となり、前事業年度末に比べ3,362千円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が3,362千円増加したことによるものであります。評価・換算差額金等は558,546千円となり、前事業年度末に比べ9,267千円の減少となりました。これは、その他有価証券評価差額金が9,267千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想については、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,851	89,483
売掛金	56,109	44,024
商品及び製品	11,619	7,555
仕掛品	5,147	9,835
原材料及び貯蔵品	4,359	5,781
その他	1,675	3,700
流動資産合計	162,762	160,381
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,438	2,530
機械及び装置(純額)	24,331	24,612
工具、器具及び備品(純額)	1,951	2,030
土地	795,477	795,477
その他(純額)	3,704	4,094
有形固定資産合計	827,903	828,744
無形固定資産		
ソフトウェア	590	538
その他	0	0
無形固定資産合計	590	538
投資その他の資産		
投資有価証券	395,939	382,700
敷金及び保証金	10,246	10,246
投資その他の資産合計	406,186	392,947
固定資産合計	1,234,679	1,222,230
資産合計	1,397,442	1,382,611

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,916	12,157
短期借入金	464,500	460,000
未払費用	7,827	7,210
未払金	19,907	19,505
未払消費税等	5,327	5,057
未払法人税等	4,645	1,218
賞与引当金	7,223	3,408
その他	6,428	8,042
流動負債合計	520,776	516,599
固定負債		
リース債務	4,505	3,993
繰延税金負債	74,096	69,518
退職給付引当金	8,255	8,597
再評価に係る繰延税金負債	199,501	199,501
固定負債合計	286,358	281,609
負債合計	807,135	798,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,000	714,000
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	△640,268	△636,906
自己株式	△52,494	△52,494
株主資本合計	22,493	25,855
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	121,176	111,909
土地再評価差額金	446,636	446,636
評価・換算差額等合計	567,813	558,546
純資産合計	590,307	584,401
負債純資産合計	1,397,442	1,382,611

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	114,809	111,223
売上原価	82,342	84,863
売上総利益	32,467	26,360
販売費及び一般管理費	27,705	28,293
営業利益又は営業損失(△)	4,761	△1,932
営業外収益		
受取配当金	5,604	5,697
不動産賃貸料	3,182	1,910
その他	175	119
営業外収益合計	8,962	7,726
営業外費用		
支払利息	3,674	2,409
その他	446	386
営業外費用合計	4,121	2,795
経常利益	9,602	2,998
特別利益		
投資有価証券売却益	1,782	—
特別利益合計	1,782	—
特別損失		
環境対策費	4,864	—
特別損失合計	4,864	—
税引前四半期純利益	6,520	2,998
法人税、住民税及び事業税	239	242
法人税等調整額	△606	△606
法人税等合計	△367	△364
四半期純利益	6,888	3,362

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。